

議事概要

令和5年度第2回東北港湾の技術ビジョン検討委員会

日時：令和6年2月28日（水）15:00～17:00

場所：仙台合同庁舎B棟9階 港湾空港部 AB 会議室

【議事概要】

- ・東北港湾の技術ビジョンが目指すべき方向性と技術ビジョンの理念について再確認した。
- ・事務局より前回検討委員会での意見を反映した資料の説明が行われた後、意見交換を行った。
- ・「東北港湾の技術ビジョン（仮）」の策定に向けて、令和6年3月下旬に中間とりまとめ（骨子案）とする。
- ・令和6年度は、検討委員会を2回開催し最終とりまとめを行い、年度内に「東北港湾の技術ビジョン（仮）」を策定・公表する実施方針案について事務局より説明。

<議 事>

- （1）東北港湾の技術ビジョンが目指すべき方向性について
 - ①指摘事項と対応
 - ②技術ビジョンの理念
 - ③前回技術ビジョンの評価
 - ④東北港湾ビジョンと“東北ならではの”の特徴
- （2）東北港湾の技術ビジョンの骨子案について
 - ⑤技術目標の設定（5つの目標とネーミング）
 - ⑥技術項目と具体的内容の設定

【委員からの主な意見】

- ・技術ビジョンの理念の前段に、東北港湾の技術にビジョンの定義のようなものを記載してはどうか。
- ・全国の問題＝東北の問題という面もあり、東北ではその進行速度が速い。東北ならではのテーマに積極的に取り組むとした方がよい。
- ・東北ならではの特徴について、東北の港や荷役、貨物、船などの特徴はないか。メリットや発展の余地のようなことを整理し記載できるとよい。
- ・東北の問題・課題が挙げられているが、東北港湾の強みというところがあって、それをさらに伸ばすための技術ビジョンという考えもよいと思う。
- ・今回の技術ビジョンは、前回技術ビジョンの内容も含めて幅広い技術の導入・推進を図るものとしてイメージしている。開発・検討していくものと、既存技術を利活用・推進してものを見やすく整理できるとよい。
- ・ハード整備に全てが偏っている感じがするので、ソフトなことも技術として支えられることがあると思うので人材育成というキーワードも重要と思う。
- ・港湾を取り巻く技術の開発や、あるいは技術の利活用といったあり方としてどういうものが望ましいかというものをまとめるのがこのビジョンだと思っており、その道標にさせていただくものとイメージしている。

以上